

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域密着型サービスとしての理念が2階の入り口右上に掲示してあります。</p>	<p>理念は2階入り口、家族様の目に付く場所に掲示してあります。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>管理者、職員が理念に向かって、日々努力して介護の実践に向かって取り組んでいます。</p>	<p>全職員が理念を共有できるよう玄関に掲示している。特に地域との交流に日々取り組んでいる。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>事業所、地域、家族会の人々に理解して頂く為によく話し合い説明を行っています。</p>	<p>今後も理念についての説明、今以上に取り組んで行きたいです。</p>
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>環境整備・近隣の方々との文化交流、作品出品などに取り組んでいる。</p>	<p>これからも散歩に出かけた時等ご近所の方に挨拶、声掛けし、ホームの存在を知ってもらおうきっかけを作って行きたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の方々とのミーティングと行事活動など参加しています。</p>	<p>地域推進委員会を設けて地域の方々のご意見をお聞きしホームの方針を知らせております。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		ボランティア活動、音楽療法、医療機関との連携
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		定期的に問題点の改善に取り組んでいる。
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	会議では2ヶ月間のホームでの活動を報告し、現状を知ってもらい又、市や自治会、民生委員からの情報も得て、入居者のサービスに活かしている。	少人数での行動なのでもう少し大勢で楽しむ機会を考慮してみても如何でしょうか。
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	田中ホーム長本多聞自治会の役員となり活動に参加している。	運営委員会、ボランティア参加者顔見知りの方々には挨拶をする。
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	管理者及び職員の一部は受講済み。7月職員研修の予定。実際成年後見制度利用されていた入居者ありこれからも増える見込み	職員の中からも興味を示す声も上がりこれからもっと必要性が出てくると思うので学び、話し合いの機会を持ちたい。7・25成年後見制度の研修をします。
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	3月25日ミーティングにて学習の機会を設け実施。神戸市からの「身体拘束に関する説明書・経過観察きろく」、も説明	虐待の事実は今現在ないが、これからも現状を維持しそのような事がおこらないよう注意を払っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>家族会での説明以外にも個別に説明し納得して頂く様に留意している。</p>	<p>ご意見箱を設置しているが、利用の周知をはかる。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>地域運営委員会等には可能な限り利用者代表にも出席していただくようにしている。</p>	<p>毎日の生活の場面でも利用者の希望、訴え等を聞き漏らさないようにする。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月のお便り以外に事の大小に拘らず連絡、報告を欠かさないようにしている。</p>	<p>体調変化等も逐一報告をしている。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会、ご意見箱設置以外に意見を言いたい時の管理者への連絡等明示している。</p>	<p>ご意見苦情等はミーティング等で職員間でも話し合っている。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月のミーティング以外に個別の面接レポート等で提案、意見を上げる。</p>	<p>上からの指示のみでなく職員の気付き、提案等を重要とする。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>ホーム長が常駐みや巻も隣接した宿舎に住んでおり常に対応できる態勢をとっている。</p>	<p>その日の状況により必要な場合は勤務時間の変更等を考える。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>各フロアに常勤者は専従しパートも職員配備のバランス上最低必要限の配置換えにおさえている。</p>		<p>なじみの関係を重視し、外出等の介助も利用尾者の希望に添うようにしている。</p>
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム長から入居者様のアセスメントについて細かい指導を受けている。外部から講師を招き研修を受けている。</p>		<p>今までは入居者様の表面のみしか見えていなかったけれどもより一層深く観察する事が出来るようになった。</p>
<p>20</p> <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>平成17年2箇所のホーム見学実施。そのご、余裕なく実施していません。</p>		<p>他ホームでの実習は考えています。今は余裕なく(職員の数で悩んでいます)難しいですが必ず実行します。</p>
<p>21</p> <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員の身体的疲労を軽減するために自動ベッドを入居時早々に購入して頂けるようホーム長が話して下さっています。忘年会、飲み会実施</p>		<p>職員が意見や考えを言いやすい環境、雰囲気を作っていく。</p>
<p>22</p> <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>ミーティングでの自己研修の発表の場を設けその結果を評価し努力を認め職員が向上心を持つよう努めている</p>		<p>職員が向上心を持って働き続けるような職場作りを目指す</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前に家族から本人の身体、精神状況を聞き、把握し、職員にも報告し、本人が不安なく入所して頂けるよう配慮している。</p>	<p>入所される前から職員が本人の状況を把握し、ケアの方向性が統一できるよう努めていく</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人との信頼関係同様担当のケアマネ等を通じて情報入手、みなで共有し、スムーズに関係が築けるよう努力している。</p>	<p>本人、家族との信頼関係を継続して保てるよう努力していきたい。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>家族、本人と要望を聞き、当ホームで対応できるかどうかを見極め不可能な場合は他サービス利用を紹介する等の対応をしている。</p>	<p>必要としている支援を見極めるためにじっくり話しを聴く機会を設けたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族様との日頃の交流の中でサービスのあり方について日々の報告の中で状況を知らせ理解するよう努めています。</p>	<p>何度か足を運んでもらいホームを見てもらい納得された上でサービス提供出来るようにしていきたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の中に書の達者な方、料理はすべて得意な方等おられ、職員の方が教えていただく事が多い。</p>	<p>特に何が得意といわれなくとも長い人生を過ごしてこられた利用者には色々教えられる事が多いので職員の喜びとなっている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	家族様来訪時には居室で利用者と過ごすのみならずリビングで共に過ごしていただき、家族様に疑問や相談有れば出来るだけ一緒に考えるようにする。		外出や行事に家族様の参加協力を頂き共に利用者のQOLの向上を図りたい。
29	利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	常に家族様が利用者の事を思ってくれている事を色んな形で伝え、家族様には来訪しやすい雰囲気を作る。		利用者の状況を常に家族様に把握して頂けるよう報告連絡を欠かさないようにする。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様以外の友人や知り合いが訪ねて来やすい場を作る。		行事や催しに色々な方に参加して頂くよう案内する。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事の席やレク、体操参加時の場所、移動時の折の組み合わせ等常に良い関係をめざす。		同じ仲良し同士の関係のみに留まらず色々な形の関わりが持てるように配慮する。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も家族が訪ねて来られたり、又、職員も訪ねたりして関係を断ち切らず付き合いを大切にしている。		今後も退所後の情報を得る事が出来るよう良い関係を保てるよう努めて行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>意思の疎通を量れる入居者には直接、希望、意向を聞いている。不可能な入居者に関しては職員間で話し合い、意見を出し合い、把握に努めている。</p>	<p>職員間で情報を交換し、入居者の真の希望を把握できるように努力していく。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>会話可能な入居者には本人に直接聞き、また、不可能な場合、家族様に聞いたりしている。退所時の情報提供など参考にしている。</p>	<p>直接本人に聞くことは回想法にもつながるのでじっくり話ができる時間とっていききたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日頃の申し送り、ミーティング等の話し合いの場で情報を入手する夜勤の多い常勤者にとってパートからの情報に気付かされる事が多い。</p>	<p>個人記録等、記録にしっかり目を通す事も大切なのでしっかり読む習慣を身に付ける。</p>
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>朝の申し送りの時間等を利用し情報を収集したり話し合いの機会を設け入居者の望んでいること、課題を認識し作成している。</p>	<p>日頃より短時間でも話し合いの機会をどんどん作りたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとに見直し担当者で話し合い現状に即した計画を作成している。</p>	<p>今までどおり取り組んでいきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録のほかに個別記録を記入し、出勤者は毎日目を通し情報を得るようにしている。それを介護計画に活かしている。		記録についてもっと短時間にスムーズに記入できるよう工夫したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1階の医師、看護師により、入居者の体調の急変にも即対応できる態勢が整っている。		これからも出来る限り入居者、家族様の要望に応じられるよう支援していきたい。
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	2ヶ月に1回、地域運営推進会議を開き、地域の情報を得ている。消防訓練、文化祭等にも参加している。		これからはもっと地域の方との交流の場を設けたい
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	月1回音楽療法、必要に応じて介護タクシー等も利用している。		入居者、家族の必要性に応じて他サービス利用を積極的に対応していきたい。
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターと協働で認知症の勉強会（キャラバンメイト）を開催した。		地域包括センターが地域のもっと根付いていく事を望みます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者、家族の納得の下に月2回往診し、入居者の身体状況把握に努め、継続的な医療を受けられるよう支援している。		常に適切な医療を受けられるよう支援していく
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	入居者の心身の状態に変化がある場合、医師にその都度相談し、その結果により診断、治療を受けるようにしている。		入居者の状態の変化に直ちに対応できる環境を維持していきたい。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	1階が以来の看護師さんが利用者さんの状況把握してくれているので相談しながら健康管理、支援している。月4回非常勤看護師来書誌、健康管理してもらっている。		非常勤看護師、医院と看護師と連携をとり、入居者の健康管理に努めていきたい。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者さんの入院時は同伴しその後もお見舞いをかねて情報交換実施。		環境整備しいつでも帰ってこられる状況を作っている
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応に拘る指針についての同意を家族と書面にて頂き、全員で方針を共有し実際に取り組んでいる。		今後も全員で方針を共有し対応していく。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期の入居者対応の為休日関係なく、医院診察時間外にも支援に取り組んでいる。入居者の変化に応じドクターより指示を仰ぎ対応している。家族とも密に連絡をとっている。		今後も医師、看護師と連携し支援に取り組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>利用者の幸福を一番に考慮し、家族と連絡を取り、住み替えによるダメージを最小限にするために職員一丸となって送り出す。</p>		<p>移った後も情報交換し、これからのケアに活かしたい。</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者の誇り、プライバシー記録については常にミーティング時、田中ホーム長より助言指導頂いています。実行尾するよう心がけ実施しております。</p>		<p>今後も定期的に話し合いの場を持ち、対応に問題がないか検討していく。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者が希望を表せるような雰囲気を作るよう努めている。又、職員同士家族との会話から得た情報を交換し、入居者の希望の把握に努めている。</p>		<p>入居者の表面化されていない埋もれた希望を見出せるよう日々の関わりや関係を大切にしたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個別に一人一人の入居者の意思を尊重し対応している。決して無理強いせず、本人の意思を聞き入れている。</p>		<p>今後も個別対応し、こちらの都合を優先せず、支援していく。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>更衣時入居者さんに洋服の確認をしています。理容はボランティアの美容師さんに訪問して頂き実施。美容は入居者さん好みの物購入時同伴</p>		<p>1ヶ月に1回ボランティアの美容師によるカット施行。希望者は家族と共に希望の美容院に行っている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者のテーブルに食材を運び一緒に準備し、盛り付け配膳、片付けは職員と一緒に実施。		入居者の好みを聞き。メニューに取り入れていく。今後も準備、片付けはどんどん手伝ってもらおう。
55 利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個々の疾病により制限される場合があるが味付け献立を工夫し美味しく召し上がってもらうよう配慮している。		近所の和菓子屋へ季節の菓子を購入したりして四季を感じたりして日常を楽しめるよう支援していきたい。
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	夜間のみPトイレ使用やパットをナプキンに変える等個々の排泄パターン、身体状況を把握し支援している。		身体状況を常に把握しその時々状態におうじた排泄の形態を考えて対応していく。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴か回数をチェックし週3回を基本に行っているが本人の希望、身体状況により臨機応変に対応している。入浴中の会話を楽しんでいる。		入浴嫌いの入居者も職員が対応をボタンタッチしたり場面転換を図り、工夫していく。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	レクリエーション、ボランティア、外出等その時々入居者の生活状況により休息時間を設けている。夜間も照明の明るさ等本人の好みに応じ配慮している。		安眠を促すよう時には眠前薬を服薬する事も考え対応していく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来る限り、生活リハビリを兼ねて日々の業務の手伝いをして頂いている。個別に絵画の展覧会に行ったり、買い物に出たりしている。		これからも入居者の残存機能をフルに活かし、生き生きとした毎日を過ごして頂きたくよう支援していきたい。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族様の了解を頂いて、ご本人にお渡しし、日々買い物に出かけ、好きなものを買って頂いている。		異食傾向のある方等、問題のある方は無理だが出来る限り自信で管理していただくようにしたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節の行事（花見、足湯）日頃散歩に出かけ気分転換を図っている。		外出係を交代制にし、それぞれに企画してもらいどんどん外出したいと思う。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族後外出したり、また、個別に自宅へ帰ったり希望に応じて支援している。		それぞれ希望をお聞きし一つでも多く叶えたい
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様、不穏状態の時、ご家族に電話を通じて話して頂いている。年賀状等、手作りを出している。		これからも続けていきたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	友人が来訪したり電話がかかってきたりしている。ご家族様の訪問も休日等特に多い。		今の状況を維持していきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	出来るだけ拘束をしない方向でケアをしている。ミーティングでも研修を行い、実際入居者の状態に合わせ職員で検討しそれに応じた対応をしている止むを得ない場合、家族にもその都度報告、了解を得ている。		今後も拘束をしない方向でケアしていきたい。また、拘束に関して話し合いの機会を設け、取り組んでいきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には外から施錠する事は皆無である。内から施錠されている場合は声掛けして開けて頂く。		ご家族様の希望により3階のエレベーターのみ施錠しているが施錠せずに安全保持出来るように取り組みたい。
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	台所、リビングどこからでも各室のドアが見渡せすぐに駆けつけられる距離に配置されている。		入眠中も中の様子がわかるように了解を得てドアの隙間を少し開けていただいている。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	料理を共にしたり片づけして頂いたりするが職印が離れる場合は包丁類は必ず収納する。		異食のある入居者様の居室に置くものには特に注意しているが殺風景にならない様留意。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ベッドより転落等の心配ある入居者様には拘束にならないように細心の注意を払いベッド下にマットレスを敷く等試みている。		ヒヤリハット報告書を読み頻度の高い事には皆で検討する機会を設けて防止に取り組んでいきたい。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急隊員により心臓マッサージの講習等を受け、各階位に緊急時のマニュアルを掲示している。		訓練の回数を増やし職員の熟練を図り急変や事故の際に慌てない様備える。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	常に非常口の確認、避難方法のシミュレーションを考えている。消防署には直結の火災通報専用電話機を備えている。		職員入居者共に避難訓練を計画している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ケアプランに詳細に盛り込み利用者さま、ご家族に説明、納得して頂いている。		一人一人の変化を細かく捉えていき、即ケアプランに取り入れられるよう注意していく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃のバイタルチェック、食事摂取量、顔色等常に観察し異変時には上司に報告、必要なら1階外来に受診するようにしている。		今後も対応が遅れる事のないよう異変時早期発見、速やかな対応を心がけたい。
74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の処方箋を読み、理解し常に飲み忘れないよう服薬確認をしている。		その都度服薬、職員同士確認をしている。
75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便確認をし状況を把握している。排便無き場合は牛乳、ヨーグルトを勧め、腹部マッサージ実施。料理も繊維質の多い野菜を使うなど工夫している。自然排便が困難な時には便秘薬にて調整している。		毎食後声掛け、誘導し、便座に座っていただく。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後職員介助で口腔ケアを実施。		毎金曜日歯科往診にて清潔保持をしている。これからも支援していきたい。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食摂取量、水分摂取量を詳細に記録している。		毎月定期健診実施。月1回体重測定実施

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎食前手洗い、うがいを実施。入浴時身体異常を発見の場合は職員相談後、ドクターに受診		職員同士声を掛け合い入居者に実施して頂く。常に見守る。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮な食材を使用し、生ものは冷蔵庫、冷凍庫に保管している。食器は常に洗剤で洗い、乾いたふきんを使用。		毎晩夜勤者がまな板をハイターにて消毒。布巾は洗剤を入れ、煮沸消毒。消毒後完全に乾燥させる。今後もそのように努める。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に季節の花を植え、季節と祭りに関わる作品を職員手作りで展示している。		バリアフリーを重視し、転倒や危険な箇所を見つけエレベーターや窓やドアの開閉にも事故に繋がると思われる場所を見守り注意を払っている。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の方々の日常で作られた手作りの作品を季節に合わせて行事をしその後展示を家族様や利用者様に楽しんで頂いています。		カーテンやベッド、トイレや廊下の美化に気をつけ部屋の温度湿度空調にいたるまで快適な空間作りに取り組んでいます。消毒や衛生面にも充分気をつけ健康への配慮も日々の活動にも取り入れています。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間もより良い人間関係を保つよう日頃のお付き合い(入居者様同士)を大切に配慮し仲良く触れ合える環境作りを常に工夫し対応しています。		個室で過ごされる時間は充分個人の希望に添いながら日常のリズム正しい生活をして頂く為にも共用空間での共同生活を楽しんでいただくよう工夫しています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		居室の利用も家族様の好みや希望をお聞きし出来る限り自然体で心地よい空間作りを目指して日夜環境整備をしています。
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		冷暖房や換気を小まめに使い分ける事で省エネやエコ環境にも充分反映し資源ごみやリサイクルにも力を入れています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>		安全かつ自立した生活ができるよう個々の環境作りを目指す。
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		得意な事を先生として皆に指導して頂く。
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		入居者さんと一緒に花や野菜を植え、一緒に収穫できたらもっと楽しんでいただけたらと思います。

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

料理の献立も食材も安心して栄養豊かな物が取り入れられている。ボランティアや音楽療法等心理面でのケアが上手になされている。四季の催しも数多く取り入れられて手作りの作品(四季に応じた物)も展示されている。